

令和7年度第2回海老名市スポーツ振興審議会【結果報告】

日時：令和8年2月17日（火） 午後2時から3時まで

会場：海老名市役所3階 政策審議室

出席者：【委員】

倉橋正美（会長）、松井孝夫（副会長）、秀島保男、前場啓子、
佐藤拓也、今福秀雄、舛本直文、原正栄

【事務局】

高田部長、曾田次長、志村課長、横溝係長、小林主事、
大塚主事、原主事

傍聴人数：0名

議題：（1）スポーツ推進計画の年度評価

（2）河原口高水敷（仮称）スポーツ・コミュニティ広場整備の
進捗状況について

1 開会

2 あいさつ

<あいさつ> 高田部長

3 自己紹介

4 役員選出

5 議題

（1）スポーツ推進計画の年度評価

ア 議題の概要

令和6年度に策定した「スポーツ推進計画」を事務局側で年度評価したため、評価内容について説明を行った。

イ 審議経過

（ア）事務局から、配布資料に基づいて、説明を行った。

（イ）意見等の集約を行った。

ウ 議題1について審議をし、委員の了承を得た。

<主な意見>

- ・スポーツボランティアは部活動の地域移行につながると考えている。指導者バンクのような制度をつくるのも部活動地域移行の推進につながると考える。
- ・市として、総合型地域スポーツクラブ、スポーツボランティアの取り組みには苦慮していると思う。それぞれ、なぜ必要なのか位置づけを明確にすべきと考える。

(2) 河原口高水敷（仮称）スポーツ・コミュニティ広場整備の進捗状況について

ア 議題の概要

整備の経緯、スケジュール等の進捗状況の報告をした。

イ 審議経過

(ア) 事務局から、配布資料に基づいて、説明を行った。

(イ) 意見等の集約を行った。

ウ 議題2について審議をし、委員の了承を得た。

<主な意見>

- ・障がい者に配慮したトイレの仕様とされたい。また、暑さ対策をしてほしい。

6 閉会

<あいさつ> 松井副会長

令和7年度第2回海老名市スポーツ振興審議会次第

日 時 令和8年2月17日（火）

午後2時00分から

会 場 市役所3階 政策審議室

1 開会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 役員選出 資料1

5 議題

(1) スポーツ推進計画の年度評価 資料2

(2) 河原口高水敷（仮称）スポーツ・コミュニティ広場整備の進捗状況について 資料3

6 その他

7 閉会

令和7年度第2回海老名市スポーツ振興審議会 名簿

●委員（任期：令和7年7月1日から令和9年6月30日まで）

所属団体等	氏名	任期	出欠
海老名市スポーツ協会	倉橋 正美	4期目	出
えびな少年少女スポーツクラブ	秀島 保男	3期目	出
海老名市スポーツ推進委員協議会	前場 啓子	新任	出
海老名市スポーツ指導者協議会	佐藤 拓也	新任	出
海老名市障害者団体連合会	今福 秀雄	5期目	出
海老名市小中学校長会連絡協議会	奥田 五成	2期目	欠
学識経験	舩本 直文	3期目	出
公募	松井 孝夫	2期目	出
公募	原 正栄	新任	出

●事務局

所属	氏名
市民協働部部長	高田 俊一
市民協働部次長	曾田 努
文化スポーツ課 課長	志村 政憲
文化スポーツ課 係長	横溝 康太
文化スポーツ課 主事	小林 卓司
文化スポーツ課 主事	大塚 晃平
文化スポーツ課 主事	原 里梨花

海老名市スポーツ振興審議会 役員名簿（案）

役職	氏名	所属団体等
会長（議長）	倉橋 正美	海老名市スポーツ協会
副会長	松井 孝夫	公募

<基本目標 1>
スポーツに親しむ機会づくり

施 策	主な取り組み	評価
1-1 スポーツ活動機会の充実	駅伝競走大会の開催	A
	えびな玉入れ選手権の開催	A
	スポレクフェスタの開催	A
	えびな健康マラソン大会の開催	A
1-2 子どものスポーツ活動の推進	スポーツ体験会の開催	B
	市内小学生への屋内プール無料券配布	A
	運動能力測定会の開催	A
	部活動等の充実	B
1-3 高齢者のスポーツ活動の推進	高齢者向けスポーツの推進	A
	高齢者のスポーツ施設利用促進	A
1-4 障がい者のスポーツ活動の推進	パラスポーツイベントの開催	A
	障がい者スポーツ大会への参加支援	A

<基本目標 2>
スポーツ活動を支える環境づくり

施 策	主な取り組み	評価
2-1 スポーツ施設の充実	スポーツ施設の整備充実	A
	相模川高水敷の整備	B
	相模川スポーツ施設のネットワーク化	B
	スポーツ施設予約システムの充実	A
2-2 スポーツ活動団体への支援	スポーツ協会の組織強化支援	A
	スポーツ協会参画団体への支援	A
	スポーツ協会事業への支援	A
	総合型地域スポーツクラブへの支援	B
2-3 ボランティア等への支援	スポーツ推進委員との連携	A
	スポーツボランティアの人材確保及び活用	C

<基本目標 3>
スポーツ活動を拓げる環境づくり

施 策	主な取り組み	評価
3-1 アスリートの育成支援	文化スポーツ賞表彰	A
	スポーツ選手強化報奨金の交付	A
	指導者等の育成支援	A
3-2 高度スポーツ誘致	高度スポーツ誘致	A
	地元プロチームへの支援	A
3-3 ニュースポーツの推進	ニュースポーツ推進の研究	A
3-4 スポーツ関連の情報発信	スポーツ関連の情報発信（LINEの活用など）	A

<評価集計>

評価指標	計
A：計画通りに事業を実施できた	23
B：おおむね計画どおりに事業を実施できた	5
C：計画どおりに事業を実施できなかった	1
D：その他	0

基本目標1	スポーツに親しむ機会づくり
施策	1-1 スポーツ活動機会の充実
事業	駅伝競走大会の開催 毎年1月に開催する駅伝競走大会で、コースは海老名運動公園をスタート・ゴールとして、グリーンラインをコースの一部としています。また、小学生を対象として陸上競技場トラックで「えびなっ子駅伝」も同時開催します。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 令和8年1月25日に「第53回海老名市駅伝競走大会」を開催し、「自治会・一般・女子・中学生対抗の部」に90チーム、「えびなっ子（総合・低学年）の部」に69チーム、合計約1,250名の選手にご参加いただきました。大きな事故やけがはなく大会を終えることができ、本市のスポーツ振興と参加者の健康増進に寄与できました。
事業	えびな玉入れ選手権の開催 スポーツ推進委員が中心となり、子どもから高齢者まで、誰でも気軽にスポーツに取り組めるよう、海老名ルールの玉入れ選手権大会を実施します。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 10月13日スポーツの日に、「EBINAスポレクフェスタ2025」を開催し、その一部として「第20回えびな玉入れ選手権大会」を開催しました。記念大会となった今大会は173チーム（約1,000人）の参加があり、スポーツ推進委員が審判等の運営に携わりました。幅広い年代の方にご参加いただき、大いに盛り上がりました。
事業	EBINAスポレクフェスタの開催 毎年、スポーツの日に合わせて運動公園を会場として開催しています。スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、指定管理者の協力を得て、未就学児及び小学生を対象とした、運動能力測定会やニュースポーツも含めて様々なスポーツを体験できるブースを設けているイベントです。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 10月13日スポーツの日に、「EBINAスポレクフェスタ2025」を開催しました。当日は、延べ約4,700人の方にご参加いただき、身近なスポーツから、普段は触れることのできないスポーツまで、性別や年齢を問わず体験を楽しんでいただきました。なお、運営にはスポーツ協会の15種目団体、スポーツ推進委員、指定管理者にご協力いただきました。
事業	えびな健康マラソン大会の開催 初心者・経験者を問わず、年齢・体力に応じコースが選べるようになっており、健康・体力づくりを目的にしています。令和4年度から、愛犬と一緒に走る愛犬部門も設けており、令和7年度に「第20回」を記念して会場を市役所前大通りから海老名運動公園へ変更し、参加者ニーズの高かった長距離部門（10km）を新設しました。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 12月14日（日）に「第20回えびな健康マラソン大会」を開催し、大きな事故や怪我無く大会を終えることができました。今年度より会場を海老名市役所前大通りから海老名運動公園へ変更し、参加者ニーズが高い長距離（10km）部門を開催するなど大会満足度の向上に努め、事業目標とする市民の健康・体力づくりに寄与することができました。 《申込者数：R7 2,649人、R6 2,376人）

基本目標 1	スポーツに親しむ機会づくり
施策	1-2 子どものスポーツ活動の推進
事業	スポーツ体験会の開催 スポーツ協会少年少女スポーツクラブ加盟団体によるスポーツ体験会を実施し、子どもたちのスポーツに触れる機会の創出を図ります。
評価	令和7年度の実施状況 B おおむね計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 6月1日に市およびスポーツ協会・少年少女スポーツクラブの主催で小学生以下を対象に「こどもスポーツチャレンジday」を開催しました。当日は10種目団体が体験ブースを設け、大盛況となりました。しかしながら団体による個別の体験会については実施率が低い傾向にあるため、今後に向けてスポーツ協会と改善策等を検討していきます。
事業	市内小学生への屋内プール無料券配布 児童の体力づくりと遊泳中の安全確保を目的に、屋内プールを小学生に無料開放するため、一人当たり年間20枚の無料券を交付しています。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 市民ニーズを把握するために、令和8年度から試行的に中学生へ屋内プールの無料券を配布しています。上記の取り組みについては3年間を目途に運用し、実績等に鑑み継続の可否を判断してまいります。なお、令和8年1月までの利用件数については11,639件となっています。
事業	運動能力測定会の開催 未就学児・小学生を対象として、運動能力を測定し、自己の記録への関心、意欲の向上を図りスポーツをする機会の創出を図ります。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 10月13日のスポーツの日に、「EBINAスポレクフェスタ2025」の中で、指定管理者の協力のもと開催しました。当日は200人を超える未就学児・小学生が運動能力測定に参加され、自己の記録を数字で見る機会を設けることで、運動に対する関心・意欲の向上に寄与することができました。
事業	《教育支援課所管》部活動等の充実 部活動指導者の派遣や、スポーツ施設の活用などを通じて、中学校の部活動活性化を推進します。
評価	令和7年度の実施状況 B おおむね計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 女子バレーボールについては市内中学校5校で合同活動等を行い、合唱部については市内中学校2校を中心に合同活動等を行っている。成果としては、他校生徒や多くの大人と関わる中で、多様な価値にふれる機会が生まれることや学校単独での活動以外で得た学びを活かし、平日の部活動がより充実した活動となっております。一方、スケジュールの調整と指導者及び活動場所の確保が課題としてあげられます。 ※部活動指導員：教員や大学生OBなど現在77名が会計年度任用職員として登録している。顧問と同等の業務にあたりま す。特定の中学校を拠点として指導する他、他校への派遣や合同活動等における指導も行います。 ※部活動支援員：有償ボランティアとして技術的な支援を行います。

基本目標 1	スポーツに親しむ機会づくり
--------	---------------

施策	1-3 高齢者のスポーツ活動の推進
----	-------------------

事業	《地域包括ケア推進課所管》高齢者向けスポーツの推進	
	高齢者団体と連携し、グラウンドゴルフやニュースポーツなど高齢者が取り組みやすいスポーツメニューの提供を通じて、高齢者のスポーツ活動の支援・充実を図ります。	
評価	令和7年度の実施状況	A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）	
	市内65歳以上の方を対象として、生きがいや役割をもっていきたいと生活できるように体操やレクリエーション（シルバーカールチャー、スカットボール、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ）など的高齢者向けスポーツを行い、健康維持及び介護予防に寄与しました。	

事業	《地域包括ケア推進課所管》高齢者のスポーツ施設利用促進	
	高齢者の体力低下防止と健康の維持・増進を図ることを目的として、65歳以上の方を対象「元気65」に、プール利用料やトレーニング機器利用料の助成を行います。	
評価	令和7年度の実施状況	A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）	
	ホームページや高齢者ガイドブックを活用して周知することで、市内スポーツ施設において、65歳以上を対象とした「元気65」をトレーニング室及び屋内プールを継続して行うことができました。（高座施設プール助成利用者数：3,948人（R7.12時点））また、他の施設においても65歳以上を対象とした「介護予防教室」を行う際に施設の貸し出しを行い、高齢者の体力低下予防などの健康維持及び介護予防に寄与することができました。	

基本目標1	スポーツに親しむ機会づくり	
施策	1-4 障がい者のスポーツ活動の推進	
事業	<p>《障がい福祉課所管》パラスポーツイベントの開催</p> <p>障がい者の方が参加しやすいよう、パラスポーツイベントを開催します。</p>	
評価	令和7年度の実施状況	A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）	
	10月25日に療養施設や障がい者施設の利用者と在宅の障がい者が、スポーツを通じて交流を楽しめる「障がい者スポーツフェスティバル」（参加者数：243人）を開催しました。本事業にスポーツ推進委員協議会の派遣を行い、参加者にはポッチャやフライングディスク・モルックなどのパラスポーツを体験いただきました。	
事業	<p>《障がい福祉課所管》障がい者スポーツ大会への参加支援</p> <p>障がい者によるスポーツ大会等への参加を支援し、活動の場の拡大と障がい者の交流を図ります。</p>	
評価	令和7年度の実施状況	A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）	
	「第24回全国障害者スポーツ大会 わたSHIGA輝く障スポ」や「第18回神奈川県障がい者スポーツ大会」へ選手の派遣および一部競技では会場までの送迎（送迎者数：約30名）を行うなど活動の場の拡大と選手の交流を促進をすることができました。	

基本目標2	スポーツ活動を支える環境づくり
施策	2-1 スポーツ施設の充実
事業	スポーツ施設の整備充実 安全で快適なスポーツ施設の利用に向けて、施設の適切な管理・運営を図ります。また、海老名運動公園や北部公園の各施設は老朽化が著しいことから、再配置を含め、安心安全でより利用しやすい施設となるよう検討を進め、改修等の再整備を図ります。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）
	市と指定管理者の両者で協力して施設の管理・運営を行いました。 令和7年度は北部公園体育館のバスケットゴール機器を更新し、安全で快適なスポーツ施設の維持に取り組みました。 また施設の劣化度を踏まえて修繕費等の令和8年度の予算化に向けて取り組んでおります。
事業	相模川高水敷の整備 相模川高水敷に市民のための「スポーツ・コミュニティ広場」を整備します。
評価	令和7年度の実施状況 B おおむね計画どおりに事業を実施できた 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）
	関係機関との協議を重ね、令和8年1月から河川敷部分（スポーツ広場等）の工事に着手しました。 同年5月まで（濁水期中）に整備を完了し、部分供用をできるよう進めていきます。 今後は、高架下部分（駐車場・管理棟等）の整備についてスムーズに着手できるよう取り組み、令和9年度夏頃に全体の供用開始に向けて執行しております。
事業	相模川スポーツ施設のネットワーク化 神奈川県と連携し、県立三川公園・河原口高水敷・海老名運動公園・中野公園等をサイクリングロードなどで一体的に整備することで、相模川沿いのスポーツ・レクリエーションゾーンとして市民のスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりを進めます。
評価	令和7年度の実施状況 B おおむね計画どおりに事業を実施できた 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）
	既存のさがみグリーンラインについては、「令和8年度県の施策・制度・予算に関する要望」において、さがみグリーンライン整備の計画的早期完了を県土整備局道路部道路整備課に提出・要望しました。 なお、河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」の整備によりサイクリングロードの一体化に寄与しているものと考えております。
事業	スポーツ施設予約システムの充実 現在、神奈川県電子自治体共同運営サービスとして運用されている、公共施設利用予約システムを活用していますが、更新時に向けさらに利便性が向上するシステムを研究します。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）
	現在活用している公共施設予約システムは令和8年度にシステム更新を控えているため、市独自のシステム導入を検討しましたが、庁内の関係各課で協議した結果、費用対効果等に鑑み、現行のシステムを継続する方向性を決定しました。なお、システムの運用改善と利便性の向上については引き続き、県に要望していきます。

基本目標2	スポーツ活動を支える環境づくり
施策	2-2 スポーツ活動団体への支援
事業	スポーツ協会の組織強化支援 スポーツ協会がさらに活発に活動できる体制づくりのため、組織強化を図るための支援をします。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 前年度より事務局長を据えて、事務局が3名体制になり組織と情報発信力の強化に寄与できたものと認識します。また法人化についても協会内で議論・推進を行っており、市民の生涯スポーツの充実を図るといった協会の目的は本市としても達成するべきものと認識していることから、引き続き連携を密に、相互に協力し合いながら業務を遂行してまいります。
事業	スポーツ協会参画団体への支援 スポーツ協会（少年少女スポーツクラブ含む）に対し、協会及び加盟団体等の育成・組織強化、生涯スポーツ、レクリエーションの普及や競技スポーツの競技力向上を目的に補助を行います。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） スポーツ協会への補助を通じて各種目団体の運営を資金面で支援しました。また、同協会から「令和8年度市のスポーツ振興と発展に向けた政策・予算要望」を受け、各種目団体から寄せられた要望事項に対し、スポーツ施設の指定管理者とともに対応しました。
事業	スポーツ協会事業への支援 スポーツ振興を目的として、スポーツ協会主催事業に対し、補助を行います。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） スポーツ振興推進事業として、スポーツ協会主催の大会や講演会をスポーツ協会に委託し、市では広報等の各種媒体を利用し、広く市民への周知を行いました。また、スポーツ協会より物価上昇分の委託費増額の要望を受けて、予算化に向けた取り組みをしております。
事業	総合型地域スポーツクラブへの支援 市民の手で、自主的・主体的に運営される「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向けた支援及び育成の支援を行います。【創設済みクラブ】特定非営利活動法人「南えびなスポーツクラブ」活動内容：フットサル・卓球・ダンス 等
評価	令和7年度の実施状況 B おおむね計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 今年度は新たな「総合型地域スポーツクラブ」の創設はありませんでした。既存のクラブである「特定非営利活動法人 南えびなスポーツクラブ」の活動に対しては、施設の告知などを行いました。

基本目標2	スポーツ活動を支える環境づくり
施策	2-3 ボランティア等への支援
事業	スポーツ推進委員との連携 市民のスポーツへの理解やスポーツ活動への参加促進に向けて、スポーツ推進委員との連携を図り、各種事業を展開します。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）
	「令和7年度神奈川県スポーツ推進委員研修会」では、会場市として海老名市スポーツ推進委員が運営（講師）として携わり、他市に海老名市が取り組んできた競技を披露することができ、大変好評でした。 なお、「第20回えびな玉入れ選手権大会」「第20回えびな健康マラソン大会」「第53回海老名市駅伝競走大会」などの市主催事業に協力団体としてご参加いただき大きな事故なく無事事業を終えることができました。
事業	スポーツボランティアの人材確保及び活用 スポーツ活動に関してボランティアを行いたい方をボランティアバンクに登録し、様々なスポーツ関連大会への協力とスポーツの普及・周知を図ります。
評価	令和7年度の実施状況 C 計画どおりに事業を実施できなかった 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）
	今年度は具体的業務に着手できませんでした。スポーツボランティアの必要性と人材確保の手法を整理するとともに、次年度以降に向けた検討を行います。また、スポーツボランティアバンクについて情報収集を行いつつ、本事業の研究をしてみたいです。今後は部活動の地域移行を見据えて研究を行い、ニーズの把握について努めてまいります。

基本目標3	スポーツ活動を拡げる環境づくり
施策	3-1 アスリートの育成支援
事業	文化スポーツ賞表彰 海老名市の文化スポーツの発展に貢献した人に対して、表彰を行いスポーツ活動の振興を図ります。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 令和7年度は、文化大賞3件、スポーツ大賞22件、文化輝き賞7件、スポーツ輝き賞43件の計67件が受賞対象となりました。11月3日に市制施行記念式典とともに文化スポーツ賞贈呈式を行い、過去1年間の市民の功績に対し、滞りなく表彰することができました。また、市庁舎1階エントランスで受賞者に関するパネル展を開催し、スポーツの振興に寄与できたものと考えます。
事業	スポーツ選手強化報奨金の交付 市民や市内団体の方で全国大会や国際大会へ出場する方に対し、本市の生涯スポーツの振興、選手の競技力向上及び選手の競技に係る経済的負担の軽減を図ることを目的として、報奨金を交付します。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） 令和7年度は約40件の申請があり、本制度の目的である生涯スポーツの振興、選手の競技力向上などに寄与できたものと考えます。引き続き、積極的な周知を行い市内アスリートの支援を行ってまいります。
事業	指導者等の育成支援 関係機関・団体等と連携し、スポーツを教えたい人・支えたい人を指導者等として育成する環境づくりを進めます。
評価	令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた 令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） スポーツ協会への委託事業として表彰式・講演会を開催し、指導者等の育成を支援しました。なお、表彰式については功労者表彰が4件ありました。

基本目標3	スポーツ活動を拡げる環境づくり
-------	-----------------

施策	3-2 高度スポーツ誘致
----	--------------

事業	高度スポーツ誘致	
	高度なスポーツ技術を持った選手と市民が身近に感じることができるよう、公式戦など、高度スポーツの誘致を推進します。また、市内各種スポーツイベントや公式戦開催日に体験会などを実施し、高度スポーツに触れる機会づくりを創出します。	
評価	令和7年度の実施状況	A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） アメリカンフットボールの「富士フィルム海老名ミネルヴァAFC」またラグビーの「グリーンエルクス」の公式戦を海老名運動公園陸上競技場で開催いたしました。また公式戦の前に子供向けの体験会を実施し、スポーツ振興はもとより青少年の健康増進等に寄与しました。なお、次年度に市制施行55周年事業として大相撲地方巡業を開催するべく関係機関と鋭意調整中です。	

事業	地元プロチームへの支援	
	地元プロスポーツチーム等と包括連携協定を締結するなど、市民と市が一体となりチームを応援することで、地元チームを盛り上げます。また、チームを支援するための手法等について研究します。	
評価	令和7年度の実施状況	A 計画どおりに事業を実施できた
	令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等） サッカーチーム「ノジマステラ神奈川相模原」及び「SC相模原」の「海老名市民DAY」を開催し、市民の無料招待など滞りなく事業を執行することができました。また、アメリカンフットボールチームである富士フィルム海老名ミネルヴァAFCの公式戦を市の広報誌などで周知するとともに、公式戦の数日前に市職員等が業務時間中にユニフォームを着用することで、市民へ行政全体で応援していることをアピールしました。	

基本目標3	スポーツ活動を広げる環境づくり
施策	3-3 ニュースポーツの推進
事業	<p>ニュースポーツ推進の研究</p> <p>子どもから高齢者、障がいのある方など誰でも取り組みやすいニュースポーツの推進について、研究します。</p>
評価	<p>令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた</p> <p>令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）</p>
	<p>令和7年度は小学校で行われている「えびなっ子スクール」や「出前授業」にスポーツ推進委員を派遣し、小学生に対してニュースポーツの推進を行いました。また、有馬小学校4年生の児童がポッチャとピンゴをもとに発案してくれた「たまピンゴ」の普及を「市民まつり」や「神奈川県スポーツ推進委員研修会」において体験していただき、多くの方がニュースポーツに親しめる機会の創出に注力しました。</p>

基本目標3	スポーツ活動を拡げる環境づくり
施策	3-4 スポーツ関連の情報発信
事業	<p>スポーツ関連の情報発信（LINEの活用など）</p> <p>市のホームページや市公式LINEなどを活用し、スポーツ・レクリエーション関連情報の発信に努めます。</p>
評価	<p>令和7年度の実施状況 A 計画どおりに事業を実施できた</p> <p>令和7年度の事業概要（具体的な取り組み、成果、反省点、今後の改善策等）</p>
	<p>従来の市ホームページ及び市公式LINEを活用し、市主催事業等の積極的な周知を行いました。また、その他にも新規の周知方法として「ららぽーと海老名」や「海老名マルイ」のデジタルサイネージを活用し積極的な周知に努めました。</p>

『海老名市スポーツ推進計画』の進行管理・評価について

1 進行管理と評価について

標記計画の基本理念、基本方針及び基本目標は次のとおり。

基本理念：一市民一スポーツ・レクリエーションの実現（計画P. 5）

基本方針：国の第3期スポーツ基本法や、神奈川県スポーツ推進計画に基づき、「する」「みる」「支える」にも着目しながら、年齢や性別、障がいの有無に関わらず多くの人が関心を持ち、スポーツマンシップにのっとり、生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境を整えること。（計画P. 6）

基本目標：1 スポーツに親しむ機会づくり
2 スポーツ活動を支える環境づくり
3 スポーツ活動を広げる環境づくり

令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの計画期間5年間で基本理念を実現するため、3つの「基本目標」に対して11の「施策」を配置し、さらに事務事業として具体化するために29の「主な取り組み」を整理した。

従って、5年間の主な取り組みの実施を通じて基本理念の実現を目指す構図となっている。

本プランの計画期間中は次のとおり評価を行う。

[年度評価]

1 事業年度ごとに事業評価を実施する。

[総括評価]

計画期間の最終事業年度には計画の運用開始から評価実施時点までを総括した評価を実施する。

2 年度評価について

前述のとおり1事業年度ごとに事業評価を実施するものとする。評価項目と考え方、評価基準は次のとおり。

評価項目1：年度の実施状況

評価対象年度の各事業の実施状況を選択式で評価する。

- A 計画どおりに事業を実施できた（達成率 90%以上が目安）
- B おおむね計画どおりに事業を実施できた（達成率 50%以上～90%未満が目安）
- C 計画どおりに事業を実施できなかった（達成率 0～50%未満が目安）
- D その他（当初の計画から大きく変更した場合など）

評価項目2：年度の事業概要

評価対象年度の各事業を記述式で評価する。取り組みの内容、取り組んだことで得られた成果、反省点、今後に向けての改善策、評価項目1の評価を選択した理由などを具体的かつ簡潔に記述する。

海老名市スポーツ推進計画の概要について

平成25年度に文化スポーツ課・健康推進課の2課にて「スポーツ健康推進計画」を策定し、令和5年度末で計画期間が満了となることから、“スポーツ”と“健康”の分野を分割し、スポーツに特化した「スポーツ振興計画」を策定しました。

策定にあたっては、スポーツ振興審議会の答申を受け、スポーツ協会への意見聴取を行い、それらの意見を盛り込んでいます。

1 計画期間

令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの5年間

※「えびな未来創造プラン2020」の最終年度に合わせています。

※社会情勢等の変化に対応するため、計画期間中も必要に応じて見直し可。

2 計画の内容

- (1) スポーツに特化し、旧計画の内容を踏襲
- (2) 基本理念は「一市民、一スポーツ・レクリエーションの実現」
- (3) 3つの基本目標を設定
 - ① スポーツに親しむ機会づくり
 - ② スポーツ活動を支える環境づくり
 - ③ スポーツ活動を拓げる環境づくり
- (4) 国・県の計画に合わせた数値目標を設定
 - ① 成人のスポーツ実施率（週1回）70%
 - ② 子どものスポーツ実施率（週3回）55%
 - ③ 国際大会に出場する選手15名以上の輩出
- (5) 施策の主な取り組み内容として、各種事業の詳細を説明
(施策：11、主な取り組み（事業）：29)

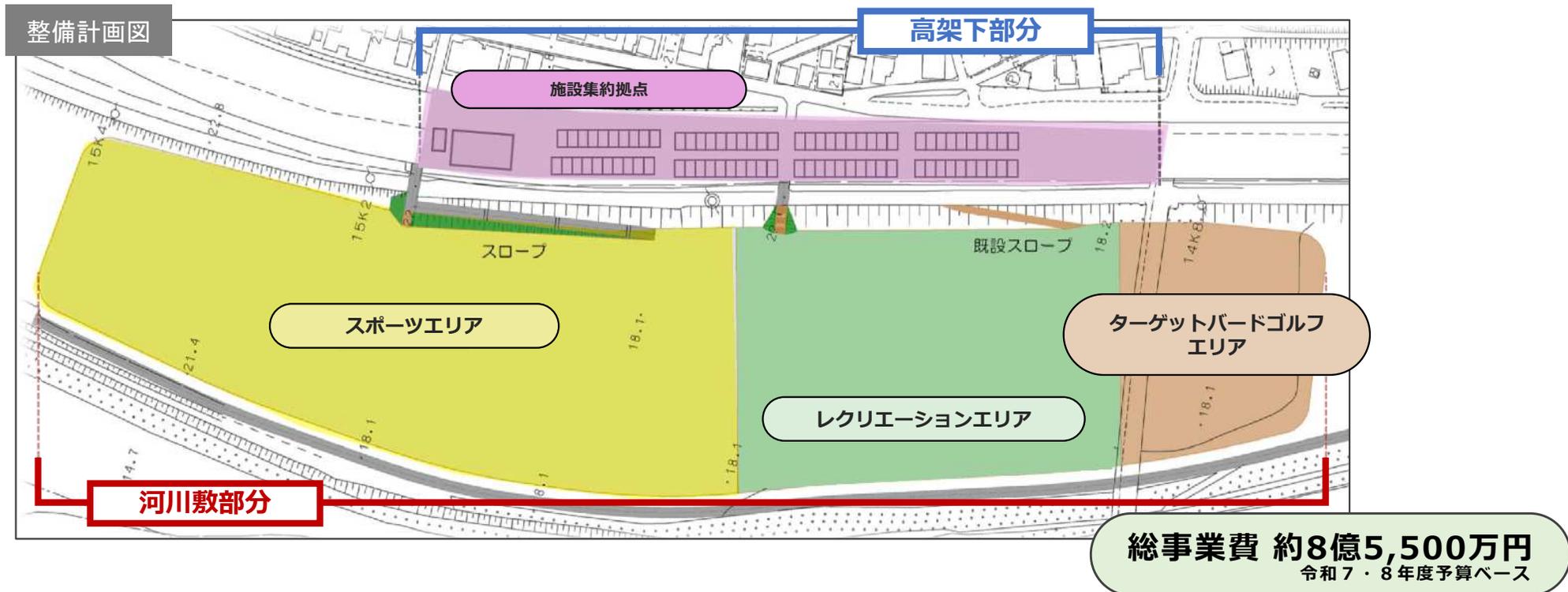
新規	<ul style="list-style-type: none">・相模川高水敷の整備・スポーツ体験会の開催・地元プロチームへの支援
重要	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ施設の整備充実・スポーツ協会の組織強化支援

河原口高水敷（仮称）スポーツ・コミュニティ広場整備事業

資料 3

令和7年5月に策定した整備基本計画をもとに整備進行中。
 令和8年1月から河川敷部分の工事に着手し、広場完成後にはプレオープンを予定。
 高架下部分を含む全体の完成は令和9年夏頃を予定。

整備区画	整備内容	完成時期
河川敷	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツエリア（クレイ舗装） ・レクリエーションエリア（芝生舗装） ・ターゲットバードゴルフエリア（不陸整形のみ） 	令和8年夏頃 プレオープン予定
高架下	<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所、トイレ（男女・多目的）、倉庫 ・駐車場（約100台）、駐輪場（約100台） 	令和9年夏頃 オープン予定





高架下レイアウト



河川敷レイアウト

